

「南岩国駅前地区まちづくり整備計画」

1 まちづくりの基本目標

「地域の生活拠点として、住む人も訪れる人も増える、にぎわいの市街地づくり」

2 市街地整備の基本方針

①安心・安全で質の高い都市基盤整備の推進

- ・誰もが安心して暮らせるよう、生活道路の改善や雨水排水対策等を実施し、災害に強いまちづくりを推進する。
- ・地区内道路の安全を確保するため、幹線道路整備を推進するとともに、安全に地区内を回遊できる歩行環境を形成する。
- ・地区住民の交流や子どもの遊び場のほか、地区利用者を含めた緊急避難や一時避難の拠点などとして活用できる身近な公園やオープンスペースの整備を推進する。

②都市機能の集積とまちなか居住の推進

- ・南岩国駅の交通結節機能を活かし、商業施設をはじめとする都市機能の集積を図るとともに、周辺地域の生活拠点を担う市街地環境の整備を行うことにより、まちなか居住を推進する。

③交通利便性の強化

- ・南岩国駅前広場の完成に続き、公共交通利用の利便性向上や歩行者・自転車の快適な移動空間の確保を図る。

3 分野別の整備方針

1) 土地の利用方針

土地の有効利用と住環境が調和するよう、現状の土地利用状況を考慮した望ましいゾーンを設定し、それに応じた用途地域などを検討することで、各ゾーンに適したまちづくりを推進する。

●商業ゾーン

駅に近接した立地環境や既存の商業施設をはじめとする都市機能を活かした市街地とし、まちなか居住を誘導する。

●商業・住居ゾーン

住宅を主として事務所、店舗などが複合して立地するまち並みを形成する。

●住居ゾーン

既存の住宅環境を維持・改善し、みどり豊かでゆとりある低層住宅中心のまち並みを形成する。

●工業ゾーン

住宅環境にも配慮しながら、工場等の操業環境の維持・改善を図る。

2) 都市施設の整備方針

・道路の整備方針

既存の道路を活用しながら、歩行者、車にとっても安心・安全な交通環境を整える。

・公園の整備方針

住民の憩いの場や多様なレクリエーションの場として整備し、地区の回遊性や賑わいの実現に向け、避難場所の観点も視野に入れつつ、適切に配置する。

・雨水排水の整備方針

道路整備・公園整備とあわせ、誰もが安心して暮らせるよう、災害に強いまちづくりを推進する。

4 事業計画

1) 土地利用について

まちづくりの基本目標の実現に向け、土地の利用方針に基づき、各ゾーンに適した用途地域を設定する。

2) 都市施設整備について

・道路整備について

①幹線道路の整備

地区内の骨格を成し、市街地形成機能において必要性の高い（都）南岩国停車場天地線を整備する。

国道 188 号については、安心・安全のまちづくりに寄与する交通安全対策について、必要に応じて道路管理者と協議し、対策を検討する。

②主要生活道路の整備

歩行者、車の双方が安全に通行できる道路として現道拡幅による道路改良整備を行い、歩行空間を確保する。

③主要区画道路の整備

地区内で発生する交通を円滑に幹線道路へ導く道路として、幅員が不足している箇所等の拡幅等の整備を行う。

④区画道路の整備

日常生活に密着した道路として、より安心・安全に通行できるよう、現地の状況に応じた安全対策整備を行う。

⑤駅と地区中心部の接続道路

交通結節点として整備される南岩国駅と地区中心部との間に、アクセス性、回遊性の向上に資する自転車・歩行者専用道の整備を行う。

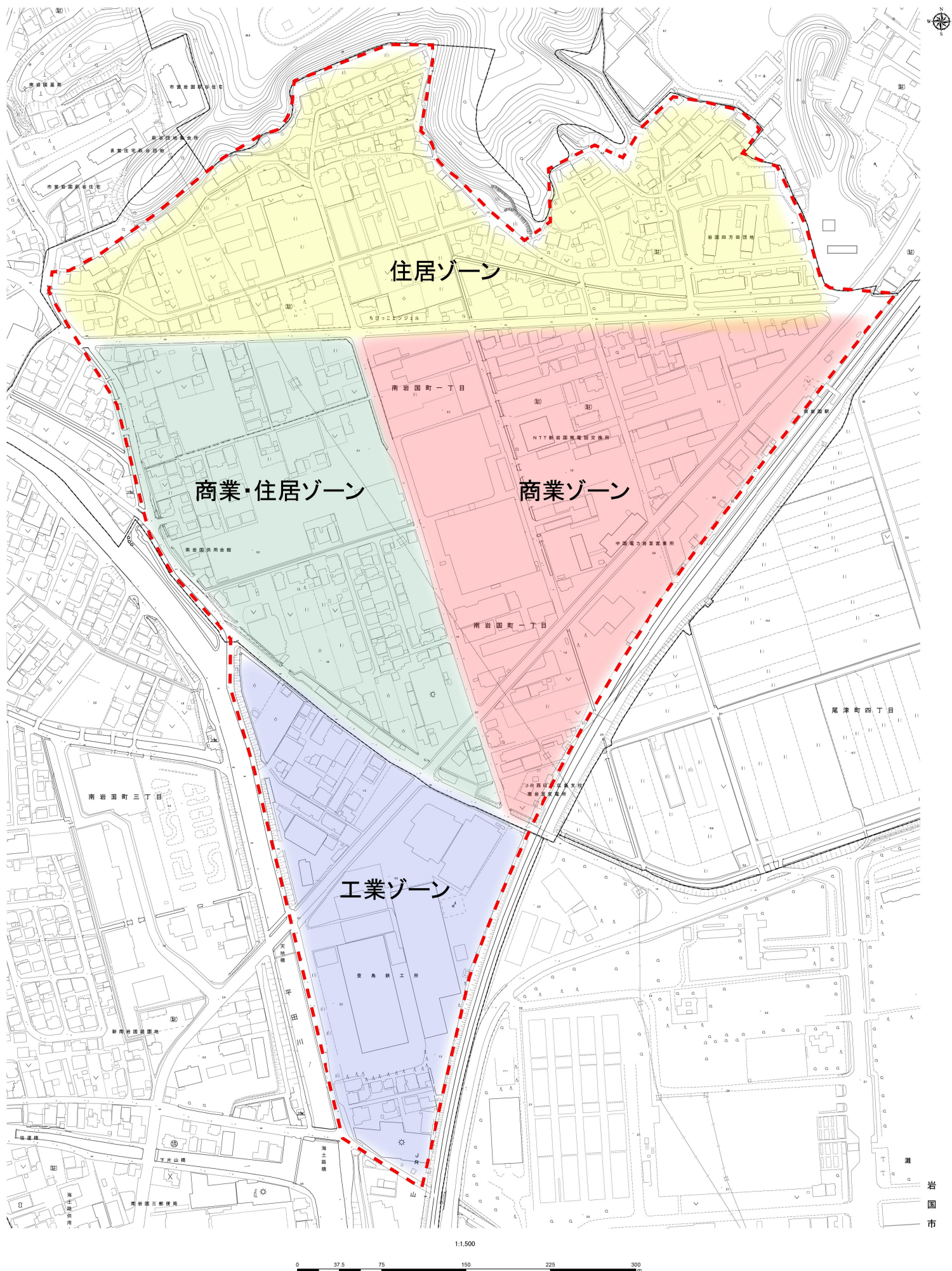
・公園整備について

(都)南岩国停車場天地線から北側のゾーンと南側のゾーンにおいて、それぞれふさわしい公園を、住民意向を踏まえ、整備を行う。

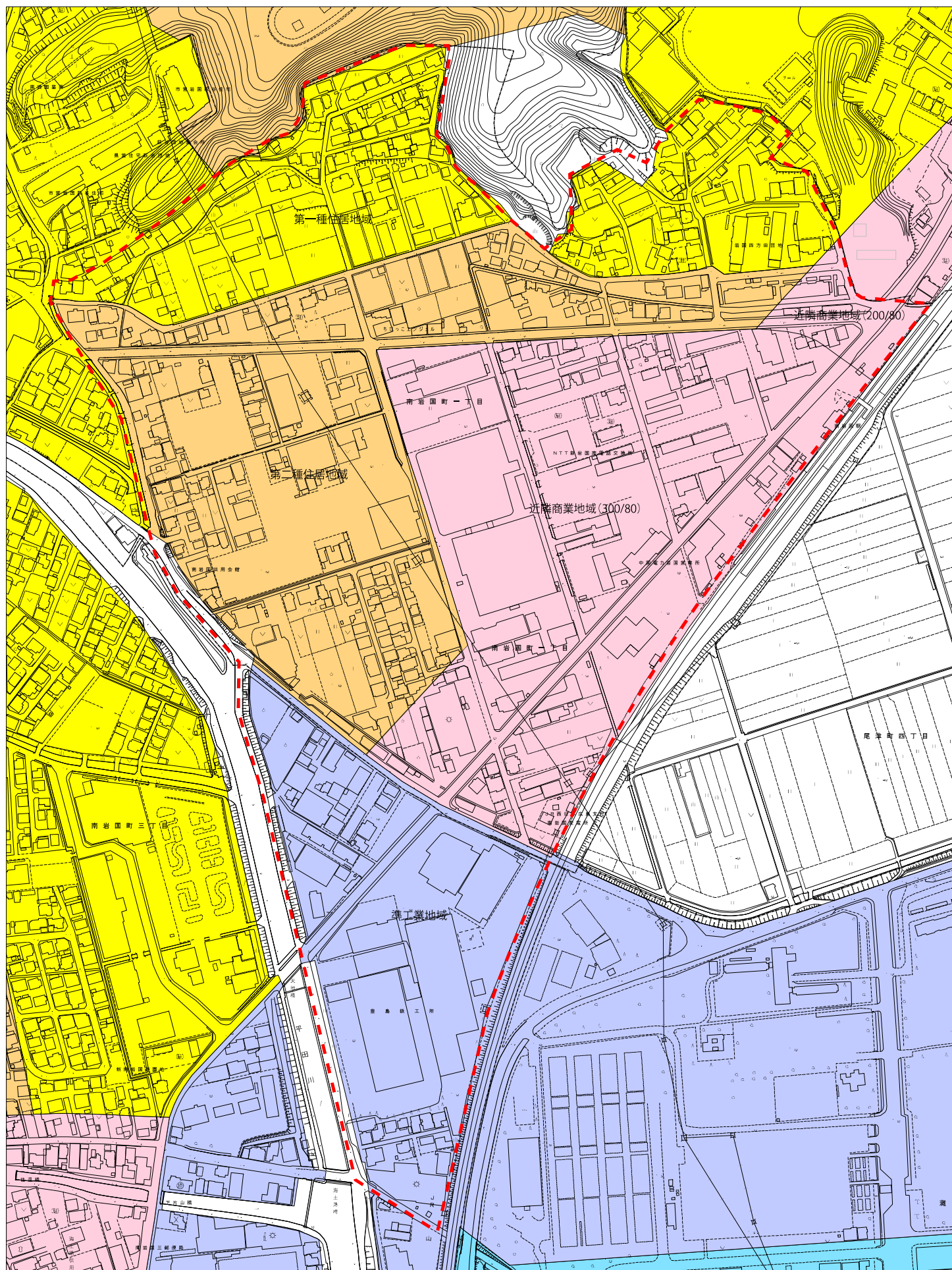
・雨水排水対策について

地区の課題である内水処理の検討を行い、有効な手法にて雨水排水対策を講ずる。

土地利用方針図



用途地域変更図



整備方針図

